

総務部長の仕事宣言！ 進行管理表

総務部長 野田 寿

〔リープロの名称〕九州をリードするまちづくりプロジェクト
 〔目標値〕新鳥栖駅利用者数 (H27) 9,590 人/日
 (リープロの概要) 世界最先端のがん治療施設である重粒子線がん治療センターの事業促進を行い、また、同施設を活用したメディカルツーリズムを推進することにより、九州をリードする取組を図っていく。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	重粒子線がん治療センターの事業推進のため、商工会議所と一体となり、市内企業への資金収集活動を実施するとともに、県、財団等と連携し、PR活動を推進した。メディカルツーリズムへの取組として、グランドクロス広域連携協議会において、医療資源活用研究部会が立ち上がった。
	自己評価	重粒子線がん治療センターを利用する患者数は順調に推移している。また、資金収集も市町村振興協会や、久留米市から支援をいただくことになり、一定の成果があった。なお、メディカルツーリズムの取組はまだ調査段階である。
	下半期への対応	重粒子線がん治療センターのPR活動及び資金収集活動について引き続き行う。広域での医療資源活用部会において、調査研究を更に行う。
下半期	取組実績	重粒子線がん治療センターについては、商工会議所と一体となった資金収集及び県、財団とともに利用拡大のためのPR活動を行った。また、がん先進医療費助成制度のPRも行った。
	自己評価	がん治療センターの利用者人数は、予定を上回る状況にある。
	目標値の達成状況	がん治療センター前に立地する新鳥栖駅の利用者についても、今後も更なる利用者の増加が期待できる。
	次年度への対応	安定運営に資するべく、関係者との協調を図る。

自己評価表

事業の進捗状況	費用対効果	市民への効果	合計
3	3	4	10

* 5段階評価での評価 (5 : 最高評価、3 : 標準、1 : 最低評価)

副市長の指示

上半期
 重粒子線がん治療センターのPR活動及び資金収集活動を引き続き行うこと。

下半期
 重粒子線がん治療センターの安定的な運営に向けて、関係機関と連携し、事業の推進を図っていくこと。

総務部長の仕事宣言！ 進行管理表

総務部長 野田 寿

〔リープロの名称〕 広域連携のまちづくりプロジェクト
 〔目標値〕 鳥栖・三養基地域との連携事業数（H27）5事業以上、
 クロスロード圏域との連携事業数（H27）10事業
 （リープロの概要） 鳥栖市を含めたこの地域の一体的な発展のため、周辺自治体と広域連携について検討する。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	鳥栖・三養基地域ビジョンに基づき、スポーツの共同観戦、防犯パトロール等の連携事業を行った。副市長・副町長級の「将来の在り方検討委員会」を開催し新たな連携事業について検討することとした。クロスロードビジョンに基づく、連携事業の具体的取組について各部会、勉強会の開催の承認を受けた。
	自己評価	鳥栖・三養基地域における連携事業は、新たな取組について検討することとしているが、先に進んでいない状況である。クロスロード地域での連携事業は、具体的な取組について、これから各市町の調整が必要となる。
	下半期への対応	それぞれの連携事業の実施に向け、推進を図っていく。また、鳥栖三養基地域の将来を見据えた広域連携の在り方を検討していく。
下半期	取組実績	鳥栖・三養基地域ビジョンに基づき、スポーツの共同観戦、防犯パトロール等の連携事業を行った。また、クロスロード地域の連携事業として、11月にシンポジウムを開催した。
	自己評価	クロスロード圏域とは、着実に事業の実施ができています。 鳥栖・三養基地域とは、協議は行ったが、新たな連携事業までは進まなかった。
	目標値の達成状況	鳥栖・三養基地域とは、目標値は達成できている。 クロスロード地域とは、更に協議を進める必要である。
	次年度への対応	鳥栖・三養基地域の連携事業を継続するとともに、クロスロード地域とは、協議を継続し、新たな連携事業の検討を行う。

自己評価表

事業の進捗状況	費用対効果	市民への効果	合計
3	3	3	9

* 5段階評価での評価（5：最高評価、3：標準、1：最低評価）

副市長の指示

上半期
 連携事業の着実な実施に加えて、新たな連携事業についても検討すること。

下半期
 鳥栖・三養基地域との連携事業を継続して実施するとともに、クロスロード地域と協調し、新たな連携事業の研究を継続すること。

総務部長の仕事宣言！ 進行管理表

総務部長 野田 寿

〔リープロの名称〕 市民に信頼される市役所プロジェクト

〔目標値〕 行政革新度ランキング（H27）173位以上、部課長の仕事宣言の公表（H27）年3回HPでの公表、研修受講職員の割合（H27）91%

（リープロの概要） 情報化、行政改革の推進及び成果重視の行政運営の実現を図ります。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	部課長の仕事宣言またその公表を通じ成果重視の行政運営が図られるように努めた。また、職員の人材育成に向けて、各階層ごとの能力開発研修を実施した。
	自己評価	総合計画の実現に向けて部課長の仕事宣言を実施している。また、職員研修も当初計画に沿って実施できている。行政改革の具体的な取組については、検討を行っている段階である。
	下半期への対応	市民に信頼できる市役所を実現するため、情報化施策の実施や行革の推進に努めるとともに、職員の能力の向上を更に図っていく。
下半期	取組実績	部課長の仕事宣言はスケジュールどおり実施し、公表を行っている。また、職員研修は階層別の研修を実施した。
	自己評価	部課長の仕事宣言及び職員研修は計画どおり進めた。行政改革は課題の整理とともに、更なる検討が必要な状況にある。
	目標値の達成状況	最新の行政革新度ランキング（平成25年度）は79位で目標値内であった。
	次年度への対応	市民に信頼できる市役所を実現するため、更に課題等を整理し、行革の推進に努めるとともに、職員の能力の向上を更に図っていく。

自己評価表

事業の進捗状況	費用対効果	市民への効果	合計
4	3	3	10

* 5段階評価での評価（5：最高評価、3：標準、1：最低評価）

副市長の指示

上半期

市政情報の発信については、正確・迅速に伝えること。

今後も市民に信頼される市役所の実現に向けた取り組みを推進すること。

下半期

市民サービス向上のため、効果的・効率的な行政運営に努めること。